

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名: 一般社団法人シモツケクリエイティブ

令和4年 3月 31日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農泊推進事業・人材活用事業)	取組概要(施設整備事業(活性化整備計画に基づかない))
栃木県 下野市	H30年度		先進地視察でノウハウやマーケットの理解を図るとともに、モニターツアーなどを通じて、旅行者のニーズの把握に取り組んだ。立地上、通過型旅行になりがちな当地域において、withコロナ時代においても、より価値と魅力を付加して、安心と安全を担保した滞在型旅行への道筋となるサービスとコンテンツ磨きに取り組んでいく。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

新型コロナウイルスの影響を考慮した上で、総合的に事業実施の成果は低調と認められることから、重点指導の対象となる。
令和3年度末までに目標を達成するよう、具体的な改善策を講じること。
今後、事業実施にあたって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

当初計画では令和2年度に営業を開始する予定でいたが、新型コロナウイルスの影響や建物解体時に判明した基礎の不陸による追加工事等、不測の事態があり、営業開始が令和3年7月までずれ込んでしまった。

3. 目標達成に向けた方策

具体的な改善策を講じた上で、令和3年度中に目標を達成できるよう事業を実施することを指導した。

4. 改善状況

繰越後の事業計画のとおり、令和3年5月31日に事業を完了した。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名: 株式会社秩父まちづくり

令和3年10月20日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農泊推進事業・人材活用事業)	取組概要(施設整備事業(活性化整備計画に基づかない))
埼玉県 秩父市	2年度		空き家となった古民家を改修し、国内外の富裕層をターゲットとする秩父の自然、文化、歴史を体感できる宿泊施設・レストランとして活用。地元食材を用いた料理を提供する。地元事業者や農家と連携し、体験プログラム等を提供する。地元人材や障害者を積極的に登用し、地元密着型の持続的・発展的な取り組みとする。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

新型コロナウイルスの影響を考慮した上で、総合的に事業実施の成果は低調と認められることから、重点指導の対象となる。
令和2年度において、施設整備事業の事業完了に至らなかった要因を分析し、必要な対策を行うとともに、令和3年度末までに施設整備事業が確実に事業完了するよう、具体的な改善策を講じること。
今後、事業実施にあたって課題等が生じた場合は、速やかに関東農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

令和2年度に施設整備事業により宿泊施設の整備を図る計画であったが、新型コロナウイルスの流行等の影響により入札不調となったため、予算の繰越を実施し、施設整備事業を継続中であった。
令和3年10月、工事契約の締結に向け工事施工業者と調整中であった。

3. 目標達成に向けた方策

令和3年度末までに確実に施設整備事業を完了するため、工事施工業者と早急に工事契約を締結するよう指導した。
また、事業進捗について定期的な連絡を行うとともに、不測の事態等が発生した際は早急に報告するよう重ねて指導した。

4. 改善状況

令和3年11月上旬に工事施工業者と工事契約を締結のうえ、令和3年度末までに余裕を持って工事完了できるよう、11月中旬までに工事スケジュールを固めた。

農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 重点指導結果

事業実施主体名: 檜原村野生鳥獣利活用推進協議会

令和 4年 3月 31日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
東京都 西多摩郡 檜原村	平成30年度	地域活性化対策 (活動計画策定事業)	檜原村に古くからある狩猟文化の観光資源化により、採算の合う自然体験ツアーを確立する。また、継続してツアーを開催することで村内の観光施設への波及効果を得る。さらには、交流が活発になることで新たな産業を起し、移住や村民の定住促進を図る。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

新型コロナウイルス感染拡大の影響により予定していたツアーやイベントの取組が実施されなかったため、実施体制は整備されているが、交流人口及び普及啓発イベント参加人数の指標で目標を下回り低調である。
目標には達していないが、取組地域に関する情報発信を適宜実施してツアーやイベントの再開に備えるなど今後に期待が持てるので、年々目標が達成されるよう努力していただきたい。

2. 低調と評価された要因

体験ツアーやイベントが開催できなかったため、目標としていた「交流人口」及び「普及啓発イベント参加人数」の実績がなかった。

3. 目標達成に向けた方策

本年度においても、コロナ禍の影響でツアーやイベントの一般公開や開催ができなかったため、SNS等により地域の魅力や狩猟の意義を発信することで潜在顧客の獲得(顧客リスト)を行った。
また、著名人に向けた少人数のプライベートツアーとジビエ食事会を開催した。今後もコロナ禍後を見据え、インフルエンサーとして交流人口の拡大に向けた取り組みを進める。

4. 改善状況

これまでの取組により、狩猟や有害鳥獣駆除についての理解が広まり問い合わせは非常に多い。一方、地域には基礎疾患を持つ高齢者も多いため、現状では、地域外から多くの人々が来場する交流イベント等の開催は望めない。そのため、引き続き、情報発信による顧客リストの拡充に努める。

農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 重点指導結果

事業実施主体名:真鶴町岩沖岩牡蠣養殖事業推進協議会

令和 4年 3月 31日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
神奈川県 足柄下郡 真鶴町	令和2年度	地域活性化対策 (活動計画策定事業)	岩牡蠣の生産、集出荷、販売促進(直販サイトの取組)及び普及推進を一体的かつ主体的に行う体制を構築して地域産岩牡蠣の付加価値向上を図り、地域の産業として確立する。 また、地域へ取組を知らしめて地域住民との調和・信頼確保につなげ、地域活性化を図る。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

取組については、概ね計画どおりに進行しているようだが、スタッフの雇用に至らなかったため、事業の評価としては低調となる。「岩牡蠣」の養殖を推進する取組で、売上げの増加なども期待できると考えているので、販路の拡大等の取組を続けていただきたい。

2. 低調と評価された要因

計画していた売上げに達せず、目標としていたスタッフの雇用を見送ったため。

3. 目標達成に向けた方策

ECサイトの強化による販売の拡大や営業の強化、関係者によるワークショップの実施により体制の強化に取り組んでいる。

4. 改善状況

3年度に目標としていた「雇用」2名のうち1名を雇用できた。ECサイトでの直販と町のふるさと納税返礼品としての取扱など、取組の効果は上がっている。

農山漁村振興交付金(農福連携対策) 重点指導結果

事業実施主体名: 特定非営利活動法人千葉県障害者就労事業振興センター

令和4年3月31日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(ソフト対策)	取組概要(ハード対策)
千葉県 千葉市	令和2年度	農業者から施設外就労の依頼や施設内での作業が出来るような作業請負のサポーターを募集し、農業者と福祉事業所をつなぐ「サポーター」として育成する。農業と福祉両方の事業に精通し、互いが理解出来るよう双方に助言、支援できるサポーターにより、障がい者の農業における雇用の機会を推進する。	

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

新型コロナウイルスにおける影響を考慮した上で、総合的に事業実施の成果は低調であると認められる。
 新型コロナウイルス感染症の影響により、目指していた成果が達成されていない地区があるが、事業主体は、ウィズ・コロナ、アフター・コロナを踏まえて、今後の取組に関して何が必要とされるのかを地域で十分に検討したうえで、将来的な取組の着地点を見出していくことが必要である。
 重点指導地区に関して、新型コロナ禍の影響による事業中止の判断はやむを得ない面はあるが、事業中止が地域の農福連携推進に大きな支障を及ぼさないように関係機関と十分に連携を図ること。

2. 低調と評価された要因

農福連携サポーター養成講座に関しては、①農福連携サポーター養成研修、②実地見学、③サポーターフォローアップ研修、④サポーター活動成果交換会と4つの企画を計画したが、新型コロナウイルスの影響により、実地見学、サポーターフォローアップ研修、活動成果交換会の実施ができず低調であった。
 サポーター派遣に関しては、計画では農園数16カ所、活動時間を1280時間としていたが、作業を請け負う障害者福祉事業所においても感染者や濃厚接触者に該当する方が発生するなど、結果として農園数5カ所、活動時間21時間と大幅な減となった。

3. 目標達成に向けた方策

サポーター養成研修においては、募集方法を工夫し、サポーター派遣については、目標を達成できるように農家に対して積極的な広報活動の取組を進める。

4. 改善状況

サポーター養成研修についての募集を行ったものの、新型コロナの影響で、応募がなく実施が出来なかった。また、サポーター派遣については、農家の要望があり、千葉県障害者就労事業振興センターに登録されているサポーターを派遣できた。
 一方、事業実績では、雇用に至る人数と就労に至る人数の達成がコロナ感染に配慮した結果、サポーターが障害者に対して支援をすることが出来なく、障害者の雇用・就労に結びつかなかったが、人材育成人数については、目標値16名に対し、8名と50%達成し、農業に従事した人数も目標150人に対して、323人と目標を達成している。

農山漁村振興交付金(農福連携対策) 重点指導結果事業実施主体名: 有限会社ワタミファーム

令和4年3月31日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(ソフト対策)	取組概要(ハード対策)
千葉県 山武市	令和2年度	「水耕栽培施設」にて「にんにくスプラウト」を生産し、宅配等の需要に応えつつ、障がい者の就労機会を創出し、農業に携わっていきける環境を整え、豊かな地域社会を未来につないでいく。	

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

新型コロナウイルスにおける影響を考慮した上で、総合的に事業実施の成果は低調であると認められる。
新型コロナウイルス感染症の影響により、目指していた成果が達成されていない地区があるが、事業主体は、ウィズ・コロナ、アフター・コロナを踏まえて、今後の取組に関して何が必要とされるのかを地域で十分に検討したうえで、将来的な取組の着地点を見出していくことが必要である。
重点指導地区に関して、新型コロナ禍の影響による事業中止の判断はやむを得ない面はあるが、事業中止が地域の農福連携推進に大きな支障を及ぼさないように関係機関と十分に連携を図ること。

2. 低調と評価された要因

予定された取組が全く実施できなかった。露地栽培により農福連携を実施する職員を育成する体制を構築しているものの、新型コロナウイルスの影響により計画された取組が全て実施できていない、実施体制は十分に機能していない。

3. 目標達成に向けた方策

新型コロナウイルスの影響を考慮し、取組の工夫をすることで計画の改善を図り目標を達成できるよう取組を進める。

4. 改善状況

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、度重なる緊急事態宣言等の影響により外食を軸としたワタミグループ内での販路が見込めなくなったため、交付金事業を廃止する計画変更を行った。(令和3年8月20日)